

## 令和5年度 鳥取沿岸土砂管理連絡調整会議（西部地区） 議事要旨

日 時：令和5年11月29日（水） 14時30分～16時

場 所：西部総合事務所 2号館 2階 第21会議室

## 1 議事

## (1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出と今後の対応方針（事務局）

- 西部沿岸において実施されているサンドリサイクルの実績や効果、また海岸の状況等についての考察が報告された。

## ＜主な意見＞

- 和田・大篠津工区における富益工区との境界付近について、浜幅が少ない状況が継続しているように見受けられるため、注視しておく必要がある。（鳥取大学 黒岩教授）
- 海岸保全施設の整備により、その漂砂下手側等は影響を受けることがある。そのため、サンドリサイクルでバランスを整えることは引き続き必要である。（鳥取大学 黒岩教授）

## (2) 各管理者からの報告

## ■日野川河川事務所の取り組み（国土交通省日野川河川国道事務所）

- 富益工区の人工リーフの改良及びサンドリサイクルの状況報告が行われるとともにその周辺海域の状況等について説明が行われた。
- 皆生工区と富益工区における令和4年台風14号の被害及びその対応状況の報告が行われた。
- 日野川における総合土砂の取組状況の報告が行われた

## ＜主な意見＞

- 侵食が見られる富益工区の長兵衛川付近から1号人工リーフの背後付近において、今年度養浜の実施を予定している。（国土交通省日野川河川国道事務所）
- 漂砂の最も下手となる境港工区においては、侵食ではなく、堆積が問題となる。ただ、富益工区の人工リーフ改良が完了しても、過去の整備事例などから、境港工区の堆積傾向が著しく改善する方向とはならない。（鳥取大学 黒岩教授）

## ■境港公共マリーナの堆砂対策について（境港管理組合）

- マリーナにおける土砂堆砂対策の取組み、堆積土砂及びその浚渫量の推移の説明が行われた。近年の取組や今後の整備事業予定等について概要の説明が行われた。

## ■皆生温泉振興の要。多様な主体による海岸活用について（米子市観光課）

- 皆生海岸の利活用状況、通年利用に向けた試みや海浜活用にあたる要望等について説明が行われた。

## ＜主な意見＞

- 養浜を行う場合、皆生工区2番湾、3番湾付近（離岸堤背後）に実施するよりも、当該箇所西側にあたる、クレスト型人工リーフ背後に実施する方が効果が高いと思う。（鳥取大学 黒岩教授）
- 皆生工区の離岸堤について、令和4年度に健全度調査を実施しており、直ちに対応が必要なものではないことを確認している。（国土交通省日野川河川国道事務所）